

平成30年度 第1回「在職者のための定着支援研修会」が終了しました！

当センターでは、企業で働く障がいのある方を会社の代表として研修に派遣していただき、本人のモチベーションに働きかけることや社内の人材育成を考えていただく機会の一環として定期的に研修会を開催しております。この研修会で、障がいのある方同士、意見交流をすることにより自分にはない意見をもらうことが出来たり、同じ悩みを分かち合える場にもなっています。また、企業担当者と共に学ぶ研修を行うことで、本人の新たな一面を発見することや会社では言いにくい悩みを知ってもらうことにもつながっています。その成果として、社員間の関わりを持つきっかけ作りが出来たり、仕事を通しての成長やモチベーションに結びついているように感じます。



第1回目は、6月21日（木）15：00～17：00の日程で「社会人の常識 これだけは知っておきたい5つの武器」をテーマに行いました。働くためには、会社の人とのコミュニケーション力や社会人としての基礎となるビジネスマナーへの意識が大切です。初心を振り返るためにも年1回は基本を見直す内容を行っています。

【研修会の成り立ち】

今回は3部構成で研修を行いました。第1部は、当センターで今まで行ってきた定着支援に関する研修会の成り立ちから、平成29年度に行った本人と企業担当者へのアンケート調査の結果や十勝管内の障がい者雇用の雰囲気などをお伝えしました。昨年度のアンケートからは、研修で学んだことを深めるだけでなく、本人と企業担当者が振り返りをするすることで、お互い話しをするきっかけになったり、本人にとっても自分に焦点が当たる機会にもなっているという検証結果が出ました。

- ・平成19年 『だいちの会』：コンセプトは仲間作り
仕事をしている方々の交流会として茶話会からスタート

「友達を作りたい」と「仕事での悩みを共有したい」というニーズが出てきた

- ・平成23年 『だいちの会』 困り事などの意見交換会・食事会
『定着支援』 職種ごとに話し合いを設ける
- ・平成25年 『在職者交流会（余暇支援）』
- ・平成27年 『定着支援研修会』 企業の人材育成とタイアップ

第2部の講義では、相手を不快にさせないマナーや挨拶の大切さを学びました。今回のポイントでもある5つの武器を、『清潔感ある身だしなみをする』『挨拶をする』『返事をする』『約束を守る』『片づけをする』としました。これは、どれも社会生活や日常生活の中で欠かせないことですが、当たり前に出ていると思いがちで、意外と出来ていない事が多いようです。参加者からも「あまり意識していなかった」「初心を忘れないことが大事」という声や、企業担当者からも「自分たちも出来ていなかった」などの声も聞きました。『当たり前』と言われることが実は障がいのある方に限らず意識しにくいということが共有することが出来たと思います。



第3部の当事者グループは、講義で学んだことを実践してもらうため『挨拶コンテスト』を行いました。

挨拶コンテストでは、各グループで作戦会議をし、方法やポイントを話し合ったあと、「いらっしゃいませ」「失礼いたします」などの言葉を用いて1グループずつ発表をしました。どの

グループも協力しあい、「笑顔をポイントにしよう」というところもあれば「挨拶にも色々あるから上司と部下のようなシチュエーションでやろう」「聴覚障がいのある方と手話で挑戦してみよう」など様々なアイデアから多種多様な挨拶を発表していました。



企業担当者のグループワークでは、介護・福祉事業や小売業、製造業などの幅広い業種の方に参加していただき、日頃抱えている障がい者雇用の課題や悩み、関わり方、配慮する点などについての意見交換を行いました。終了後のアンケートを通して、「本人に合った役割を探していきたい」「企業の規模や障がいの種別、就業年数によって起きている問題は違うとわかった」などの意見がありました。ご参加いただいた企業も増えてきたので、今後、企業同士の情報交換やつながり作りへと展開していければと考えています。

社会人にとって仕事の能力や知識は大切であると同時に、今回の研修のテーマとしてあげた元気で明るい挨拶やハキハキとした返事などを身に着けることが相手に好感を持たれることにつながると思います。元気な挨拶で、自分も相手も明るい1日を一緒にスタートすることが出来るはずです。今回学んだことを意識し習慣づけることが、相手との関係をより良くすることや気持ちよく働くことへの一歩でもあると感じます。

今後も皆さまのご協力のもと、障がいのある方向けの人材育成に関する研修会や余暇の活動を企画して参ります。様々な活動を通して、働くことに対する意識を高めてもらったり、充実した生活を送ってもらいたいと感じておりますので、是非趣旨をご理解いただきご参加下さい。よろしくお願いいたします。